

施策評価調書（主要施策別）

様式 1

基本目標	「安全」な水の供給	整理番号	2 - (5)
主要施策	おいしい水の供給	施策主務課	計画課
施策の趣旨	<p>お客様に安全でおいしい水をお届けし、安心して利用していただけるよう、「第 2 次おいしい水づくり計画」に基づいて、おいしい水の供給を推進していきます。</p> <p>残留塩素濃度の低減化等のおいしい水づくりに向けた技術的な取組を実施するとともに、お客様に水道水の安全性やおいしさを理解していただくための体験型イベント等のキャンペーンや、おいしい水づくり推進懇話会等でお客様とのコミュニケーションを通じて、より安全でおいしい水づくりに取り組みます。</p>		

施策を達成するための主な取組と達成状況

	おいしい水づくりの技術的な取組	担当課	計画課 浄水課 給水課
取組	<p>(取組の概要)</p> <p>お客様に安全でおいしい水をお届けするため、水源から蛇口まで一貫したおいしい水づくりを推進します。</p> <p>ア) 残留塩素濃度の低減化</p> <p>残留塩素は、水道水の安全性を確保するために必要不可欠であるものの、高い濃度では水道水のおいしさを損なうため、きめ細かな管理が可能な塩素多点注入方式を船橋給水場及び姉崎分場に導入します。</p> <p>また、残留塩素濃度低減化試験の実施により、安全を確保した上で多くのお客様が塩素臭を感じないレベルを目指していきます。</p> <p>さらに、管網末端での塩素濃度管理を行って、給水区域内の塩素濃度の低減化を図ります。</p> <p>イ) 管路の適正な維持管理</p> <p>長い管路を使って送られる水道水の水質を適正に維持するため、管路状態の巡回確認やバルブ等の設備の保守点検を定期的に行うとともに、計画的な管内洗浄により赤濁水等の発生を防ぎ、安全でおいしい水を供給していきます。</p> <p>ウ) 貯水槽水道の適正管理と直結給水の促進</p> <p>集合住宅やホテル、病院等に見られる貯水槽水道においては、貯水槽施設の適正管理が重要であることから、引き続き、巡回サービス（啓発及び希望者への点検等）により貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。</p>		
	<p>(28 年度取組計画の概要)</p> <p>ア) 残留塩素濃度の低減化</p> <p>残留塩素濃度の低減化に効果のある、塩素多点注入方式を船橋給水場に導入するための設備工事に着手します。(29 年度完成予定)</p> <p>イ) 管路の適正な維持管理</p> <p>赤濁水等の発生を防ぎ適切な水質を確保するため、年間 1,000km を目標に計画的な管内洗浄を実施します。</p> <p>ウ) 貯水槽水道の適正管理と直結給水の促進</p> <p>平成 32 年度までの 5 か年の対象貯水槽約 9,200 箇所のうち、平成 28 年度は船橋・市川水道事務所管轄の貯水槽 1,975 箇所を対象として、適正管理についての啓発活動を実施するとともに、直結給水化を促進します。</p>		

28年度当初予算額 228,822千円 (再掲分 35,728千円)		決算(見込)額 199,844千円 (再掲分 35,322千円)	
		29年度への繰越(見込)額 0千円 (再掲分 0千円)	
(上記の金額のうち、塩素多点注入方式導入事業分については、1-(1)-「浄・給水場設備の更新・整備」で計上している金額から抽出・再掲載したものです。)			
達成指標	ア) 塩素多点注入方式を導入した区域での残留塩素濃度 イ) 送・配水管の計画洗浄延長 ウ) 貯水槽水道の適正管理啓発実施率 直結給水率 ¹	内部評価	
達成目標	ア) 船橋給水場の塩素多点注入設備工事着手 イ) 1,000km ウ) 21%(1,975箇所/9,200箇所) 71.7%(27年度実績71.3%より+0.4ポイント)	a: 達成している b: 概ね達成している c: 未達成だが進展している d: 進展していない	
達成実績	ア) 船橋給水場の塩素多点注入設備工事着手 イ) 1,124.5km ウ) 21%(1,976箇所/9,200箇所) 72.1%(+0.8ポイント)	前年度評価	-
(取組の進捗状況) ア) 船橋給水場の塩素多点注入設備工事に着手したほか、北船橋給水場、妙典給水場及び北習志野分場系統においても、残留塩素濃度低減化のための取組を行いました。 イ) 計画的な洗浄の実施により、洗浄延長の実績は目標1,000kmを上回る1,124.5kmとなりました。 ウ) 1,976箇所について適正管理の啓発活動を実施し、貯水槽水道の適正管理啓発実施率は目標の21%を達成しました。 貯水槽の適正管理の啓発を行う際に送付する案内文に直結給水方式についてのパンフレットを同封し、また、貯水槽の点検を実施した際には、そのメリット等を直接説明するなど、直結給水方式への転換PRを実施したことにより、直結給水率は目標の71.7%を上回る72.1%になりました。			
(評価結果の説明・分析) 船橋給水場の塩素多点注入設備工事に着手するとともに、送・配水管の計画洗浄延長、貯水槽水道の適正管理啓発実施率及び直結給水率のいずれについても目標を達成したため、「a: 達成している」と評価しました。			
(今後の進め方) お客様に安全でおいしい水をお届けするため、引き続き水源から蛇口まで一貫したおいしい水づくりに向けた取組を推進します。			

水道事業ガイドラインで設定されている指標
 (達成指標)

1 直結給水率 水道事業ガイドラインの指標番号 B204

取組	安全でおいしい水キャンペーン	担当課	計画課 浄水課
	(取組の概要) 水道水の安全性やおいしさについての情報が、お客様に正しく伝わり、理解していただくことにより、水道水を安心して利用していただけるよう、積極的な広報を行うとともに「水道出前講座」や「浄水場見学会」等の体験型イベントや、ミネラルウォーターとの飲み比べを行う「利き水体験」等のキャンペーンを展開していきます。		

<p>・「水質検査体験」の実施 公募により選任した一般のお客様に、簡易水質検査を体験していただき、測定結果等の報告をしていただきます。</p> <p>28年度当初予算額 1,680千円</p> <p style="text-align: right;">決算(見込)額 815千円</p> <p style="text-align: right;">29年度への繰越(見込)額 千円</p>		
達成指標	1)おいしい水づくり推進懇話会開催回数 2)「水質検査体験」への協力者数	内部評価
達成目標	1)3回 2)120人	a: 達成している b: 概ね達成している c: 未達成だが進展している d: 進展していない
達成実績	1)3回 2)127人	前年度評価 -
<p>(取組の進捗状況)</p> <p>1) 目標とおりおいしい水づくり推進懇話会を3回開催し、お客様のご意見・ご要望を踏まえたおいしい水づくり計画を推進しました。</p> <p>2) 「水質検査体験」では目標を上回る127名のお客様にご協力いただき、水道水の安全性や残留塩素の必要性等への理解を深めていただきました。</p> <p>(評価結果の説明・分析)</p> <p>いずれの取組についても目標を達成したため、「a: 達成している」と評価しました。</p> <p>(今後の進め方)</p> <p>今後もおいしい水づくり推進懇話会と「水質検査体験」の実施を通じてお客様から意見・ご要望などをいただき、コミュニケーションを更に深めるとともに、計画推進の参考とします。</p>		

施策の成果

成果指標	(1) 水道水の飲み水としての満足度 (2) 水道水のおいしさ	内部評価				
成果目標	(1) 76% (2) 51%	a: 成果が出ている b: 概ね成果が出ている c: 成果が小さい d: 成果が出ていない				
成果実績	(1) 77% (2) 49%	前年度評価 -				
<p>(施策の進捗状況)</p> <p>水源から蛇口まで一貫したおいしい水づくりのため、船橋給水場の塩素多点注入設備工事へ着手するとともに、北船橋給水場、妙典給水場及び北習志野分場系統の残留塩素濃度の低減化、管路の適正な維持管理、貯水槽水道の巡回サービスと直結給水への転換促進などの技術的な取組を進めました。</p> <p>また、お客様に安全でおいしい水道水を知ってもらうため、水道出前講座等でのPRを継続的に実施しました。</p> <p>さらに、おいしい水づくり推進懇話会等からもご意見・ご要望などをいただきながら、おいしい水づくり計画を推進しました。</p> <p>これらの取組により、インターネットモニターアンケートによる水道水の飲み水としての満足度は、成果目標を上回る77%となりましたが、水道水をおいしいと感じる人の割合は、目標をわずかに下回る49%となりました。湧水により水源水質が悪化したことが目標を下回った要因の一つと考えられます。</p> <p>(参考) インターネットモニターの内訳について</p> <p>回答者数: 520人</p> <p>・性別割合</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>男性</td> <td>女性</td> </tr> <tr> <td>50.2%</td> <td>49.8%</td> </tr> </table>			男性	女性	50.2%	49.8%
男性	女性					
50.2%	49.8%					

・年代別割合

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1.2%	3.3%	18.3%	27.1%	22.9%	17.5%	9.8%

(評価結果の説明・分析)

水道水の飲み水としての満足度は当初の目標を達成しており、水道水のおいしさについても目標に近い成果がでていることから、「b：概ね成果が出ている」と評価しました。

(今後の方向性)

「第2次おいしい水づくり計画」に基づき各種施策を実施し、引き続き、おいしい水の供給を推進していきます。

内部評価機関 (経営戦略会議) における評価	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
	(特記事項) なし